



事例紹介

大阪府高槻市立 阿武野小学校

親しみやすさで学び広がる家庭学習 ～普及のためのポイント～



阿武野小学校では、eライブラリの家庭学習サービスに「あぶちゃんくらぶ」という愛称をつけて取り組んでいます。学校をあげて「あぶちゃんくらぶ」を普及させていくための工夫をご紹介します。

運用 「あぶちゃんくらぶ」普及のための4つの工夫

1 ホームページでのリンク

「あぶちゃんくらぶ」のロゴマークを作り、学校HPのトップページに学習サイトへのリンクを貼っています。

ロゴには子どもたちにも保護者にもお馴染みの『あぶちゃん』を起用し、親しみをもってもらうことをねらいとしています。

◆阿武野小学校ホームページ



2 学校掲示板での紹介

校内の掲示板にも大きく「あぶちゃんくらぶ」と掲載し、できる限り子どもたちの目につくように工夫しています。

教室でも常に「あぶちゃんくらぶ」と繰り返し呼びかけることで浸透していきました。



3 学校便りでの呼びかけ

学校便りでも「あぶちゃんくらぶ」の活用を繰り返し呼びかけ、毎月保護者の目に触れるように案内しています。

4 保護者向け家庭学習体験会の実施

希望者を対象に、家庭学習サービスの保護者向け体験会を実施しました。保護者にも体験してもらうことで、家庭学習への理解や協力が得られ、親子で学ぶきっかけになるそうです。



●保護者の感想

子供は授業でやったことがあるようですが、
どういうものか分からなかったので、今日は
体験できて良かったと思います。

大トの私も楽しく出来たので、家で
も日時間を見つけては子供と一緒に
してみたいと思いました。



首席教諭 中田先生のお話



「家庭学習を充実させ、学力向上に繋げていきたい」というねらいのもと、eライブラリの運用を開始しました。多くの家庭に親しみをもって利用して欲しいと思い取り組んできたところ、保護者から「子どもが家ですごく喜んでいるので今後も続けて欲しい」といった、多くの嬉しい意見をもらえるようになりました。

eライブラリは子ども一人一人のニーズに合わせた学習ができるところが魅力であり、不登校の児童への支援教育にも繋がるのではないかと感じています。

今後は校内での利用も促進していくために、校内の研究授業でeライブラリを使った授業を実践していきたいと思っています。

高校入試過去問題とドリルで学力向上 ～小中連携した家庭学習の取り組み～



阿武野中学校では、小中連携の取り組みの1つとして、阿武野小学校と同じ、eライブラリの家庭学習サービスを各家庭に案内しています。小中連携の取り組みとプリントの活用方法についてご紹介します。

プリント 家庭でも授業でも入試問題

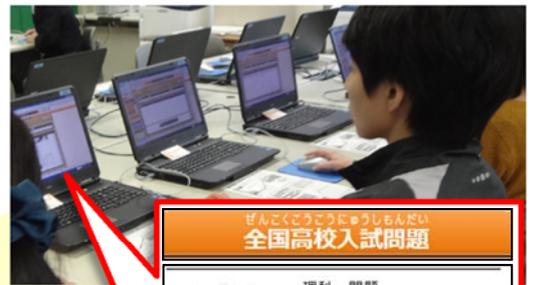
保護者が
プリント



保護者向け体験会で、
入試問題に歓声！

阿武野中学校では、保護者向けの家庭学習体験会を開き、**高校入試問題の過去問題が家庭のパソコンから印刷できる**ことを紹介しました。

参加した保護者は「すごい」と声を上げながら、熱心にプリントを開いて確認していました。「**家でも入試対策ができる**と知った」「**自分の子どもがこんな勉強をしているのかということがわかって良かった**」と大きな反響があったそうです。



先生が
プリント



過去問題を編集して
プリントを作成！

校内で高校入試問題を利用するときは、Wordでの編集機能を使って、先生が**問題を切り貼りし、用途に合わせたプリントを作成**しています。必要な問題だけを過去問データベースから取り出し、先生オリジナルの問題を加えてまとめておくだけで、**単元や難易度別に分けた課題を出題**できます。

● 実態に合わせて、難易度別プリントを使い分け

単元別プリントは、**基本・標準・発展の3つの難易度別**に収録されているため、**クラスや子どもたち一人一人の実態にあわせてプリントを使い分け**て利用しています。

また、発展問題では問題の考え方や作り方が参考になる内容も多いため、定期テストを作成する際にも活用しています。



数学科 山田先生

運用 小中連携を意識した取り組み

十 奥平校長先生のお話

阿武野中学校区では今年度から「**授業での小中連携**」に取り組んでいます。eライブラリは小学1年～中学3年まで9学年の教材が揃っており、**小中で同じシステムを使うことで、子どもたちには「使ったことがある」という安心感が生まれる**と考えています。

また、プリントとデジタルドリルの両方向から学習できるのもeライブラリの魅力です。今後は、eライブラリを使って**自分自身で選んだ課題に取り組む**ことで、**普段から少しでも自学自習力を身につけてほしい**と期待しています。